

東9 樹木管理の適正化

求める技術：③⑦

1 課題を抱える業務の内容

玉川上水には、樹木（約13,000本）や様々な野草が生育しており、その植生管理として、樹木処理作業や下草刈作業など、通年実施しています。



2 課題の詳細

通年で植生管理を行っているにも関わらず、密林化や高木化の進行、ナラ枯れなどが発生しています。さらに、都民の自然環境に対する関心も高く植生管理に関する様々な意見や要望を頂いています。近年では、台風等が頻発化し、樹木が原因となった人身事故や家屋被害・交通に支障を及ぼした事例も発生しています。

これらの状況に適切に対応するため、まずは、全体の植生状況の定期的な把握や情報の更新が必要です。しかし、現状は紙台帳により管理しており、即時の情報更新が難しく、更新期間も数年に一度など、植生状況の反映に時間を要しています。

3 こんな技術を求めています！

- GIS等を活用した効率的な植生の台帳管理方法
- スマートフォンやタブレットなどを活用した日常の植生管理データの即時更新
- 植生の成長速度を予測し、適切な維持管理（樹木処理の時期）などを診断するシステム

4 技術の導入により代替が期待される業務

植生状況の確認作業や反映作業の効率化

5 事業規模・業務量

樹木調査 費用：約4000万、工期：100日（範囲：約18km）、約1500万、工期：120日（範囲：約12km）
対象樹木：約13000本 約5年毎に実施